

随想

〈第二十六回〉

能登半島地震から

見えた課題

市長 米本 弥一郎



能登半島地震の発生から1か月と
なります。災害により亡くなられた
方々と被災された皆さまに、謹んで
お悔やみとお見舞いを申し上げます
とともに、1日も早い復旧・復興を
心よりお祈り申し上げます。

市では、国や県からの要請に応じ
て、被災地への職員派遣や、被災さ
れた方を受け入れる公営住宅の提供
を行っています。引き続き関係機関
と連携を取りながら、支援を行って
いきます。

新年の仕事始め式では「被災地に
思いを馳せ、市民の生活と安寧な
日々を守ることが、私たちの職務・
責任であることを再認識して精励す
るよう」と職員に伝えました。

被災地では、今なお多くの方々が
避難所に身を寄せており、生活環境
の悪化による「災害関連死」への対
策などが課題となっています。

冬の避難所では、水などの物資や
医療体制の確保とともに「TKB+W」、トイレ、キッチン(温かい食
事)、ベッドとウォーム(暖房)の整
備が必要不可欠とされています。市
では、災害協定を締結している約50
の民間企業・団体の協力を得ながら、
避難生活で想定されるさまざまな状
況に備えていきたいと思っています。

消防出初式では、消防職員や消防
団員の「自分たちの故郷は自分たち
で守る」という強い思いが伝わって
きました。災害発生時の初動対応の
検証や自主防災組織の結成促進など、
過去の災害での教訓や経験を生かし、
防災対策を講じていくことの重要性
を改めて感じています。2月25日に
は津波避難訓練を実施します。地震
や津波から自分自身や家族の生命を
守るために、市民の皆さまの積極的
な参加をお願いします。

図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時

土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時

今月の休館日／5日(月)、13日(火)～22日(木)、26日(月)

関市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／3日(土) 午前10時30分～11時

場所／県立東部図書館3階 研修室

今月のおすすめ



「墓じまいラプソディ」

垣谷美雨 著 (朝日新聞出版)

「夫の墓には死んでも入りたくない」という母の遺言から始まった墓問題。親類や周囲も巻き込み、跡継ぎ問題や家族制度などシビアな問題を愉快に描く。



「戦国武将伝 東日本編」

今村翔吾 著 (PHP研究所)

23都道府県ごとに1人の戦国武将を取り上げた掌編小説。有名な武将の武勇伝だけではなく、戦の合間の日常を描いた、武将の人間味や魅力があふれた一作。

新着図書

- 紫式部と清少納言が語る平安女子の暮らし (鳥居本幸代)
- ひとりシニアのお金と暮らしの基本 (深川恵理子)
- なるようになる。 (養老孟司)
- 枯らさず長く楽しむ花の育て方図鑑 (オザキフラワーパーク)
- 文藝春秋オピニオン2024年の論点100 (文藝春秋)
- 清算 (伊岡瞬)
- 75歳の親に知ってほしい! 筋トレと食事法 (大坂貴史)
- ツミデミック (一穂ミチ)
- 葉草手帖 (新田理恵)
- デウスの城 (伊東潤)
- 私の源氏物語ノート (荻原規子)
- 誰かがジョーカーをひく (宇佐美まこと)
- この会社、後継者不在につき (桂望実)
- 月ぞ流るる (澤田瞳子)
- 山ぎは少し明かりて (辻堂ゆめ)
- こちら空港警察 (中山七里)
- タスキ彼方 (額賀滯)
- さやかに星はきらめき (村山早紀)
- おでんオデッセイ (山本幸久)
- パッキパキ北京 (綿矢りさ)